



# ほかほかだより

2024年5月31日

5月30日（木）、各学年で「なかよしデー」をしました。

「なかよしデー」では、自分自身を大切にするとともに、自分のことだけでなく、周りの友だちにも目を向け、相手の気持ちに気づいたり考えたりすることができるようになってほしいと願い、取り組んでいます。毎日の生活やあそびの中で、様々な事を感じ、経験して、人との心地よい関係を学びながら、少しずつ成長している子どもたちですが、成長に合わせて、また新たな課題が生まれてきます。普段の生活の中でも、友だちとの関わり方について「これってどうかなあ？」と思ったことは、子どもたちと話し合ったり、考えたりしています。今回は実際の生活の中で見られた事例を職員劇で客観的に見て、登場人物の気持ちについてみんなで考えました。

## 3歳児 「かして」「いいよ」「待っててね」「ありがとう」あったかい言葉だね。

みんなのお気に入りのくまの人形。楽しく遊んでいたみさこちゃん（村岡）。それを勝手に何も言わず、取って行ってしまうゆいちゃん（山添）。取られたみさこちゃんは困った顔。

『私が今遊んでいたのに・・・』『いやだな・・・』『悲しい・・・』『私もこの人形で遊びたい！』など、お互いにいろいろ気持ちがあるのかもしれないね。

「どうしたらいいと思う？」と問いかけるとすぐに「かしてね！って言う！」とすぐに伝えてくれました。でも貸してあげたくない時もあるよね。たくさん遊んだときは「いいよ。」ってすぐ貸してあげられるけど、まだ遊びたいときは「待っててね。」と言ってもいいことも話し合うことができました。あったかい言葉をみんなで言い合って嬉しい気持ちになったりんご組でしたよ。

## 4歳児 一人では言えなくても友だちと一緒になら言えることもあるよね。

くみこちゃん（中尾）とみさこちゃん（村岡）楽しくレゴで遊んでいると、ゆいちゃん（山添）がバラバラにしています。『やめてって言いたいけど・・・』『怒られたら嫌だし・・・』『我慢しよか・・・』と様々な思いがあるようです。子どもたちに問いかけてみました。

「もし、バラバラにされたらどんな気持ちになる？」「なんて言ったらいいと思う？」

「嫌な気持ち・・・」「悲しい・・・」「やめてって言う！」「一人でも言える？」「言える！」「もし言えなかったら？」「友だちと一緒に言うたら？」と教えてくれる子どもたちです。「でもゆいちゃんも一緒に遊びたいんじゃない？一緒に遊ぼうって言うたらいいやん。」と話してくれる子もいましたよ。バラバラにしてしまうゆいちゃんの気持ちも考えることができたひまわり組でした。その後、みんなで話したことをもう一度劇にしてみました。

嫌だったことを伝える勇気も大事。友だちの気持ちを考えることも大事。友だちと一緒になら伝えられることもあるよね。友だちっていいね。友だちの顔を見たら気持ちもわかることも話し合うことができました。

## 5歳児 自分の思いもある。相手の思いもある。

### こんな伝え方したらいいんじゃない？

ままごとであそんでいるみさこちゃん（村岡）のところに「フライパン貸して～」とゆいちゃん（山添）。みさこちゃんは「今、私が遊んでるからあかん！」「遊んでるねん！」と強い口調で言うみさこちゃんの様子にすみれ組は「いいよって言うたらいいのに。」「もう少し優しく言うたらいい。」など感じたことを口々に話してくれました。するとさすが年長組。「劇でやりたい！」と何人かの友だちが声を出し、実際どんな伝え方がいいのか劇（ロールプレイ）をしてくれました。「あ～そうか。こんな言い方したら、気持ちよく遊べるね。」とみんなが気付けるよう劇をしてくれましたよ。心地よい話し方、自分の思いを伝えることの大切さや、表情で人の気持ちを感じることも大事なことも話すことができました。たくさん友だちが「私も劇でやってみたい！」と手を挙げていましたよ。



様々な生活経験の中で他者の思いに触れる機会がありますが伝わりにくいこともあります。今回、劇を通して子どもたちなりに自分の考えを伝えたり友だちの思いに気付いたり、思いを行動にうつすことができればいいなと願い取り組みました。これからも「なかよしデー」だけでなく、日々の生活の中でいろいろなことに気づき考えていける機会をもち、一人ひとりが大切にされている実感をもてるような取り組みをしていきたいと思っています。子どもは身近にいる大人の影響を大きく受けます。私たち大人の声掛けや行動も大切にしていきたいですね。

